

令和7年 第3回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

和木町教育親善使
節団の派遣につい
て

はじめに、和木町教育親善使節団の派遣について申し上げます。

姉妹都市である和木町との教育親善使節団の派遣事業は、昭和56年から実施しており、今回で25回目となります。

本年度は、和木町へ派遣となる年で、7月30日から8月1日までの3日間、小中学生4名と引率者2名を使節団として派遣し、交流を行いました。

滞在中は、萩焼の絵付け体験、広島市平和記念公園や宮島、錦帯橋の見学など、貴重な経験をさせていただいたとともに、和木町の児童・生徒とも交流を深めたところであります。

全国中学校体育大
会の参加について

次に、全国中学校体育大会の参加について申し上げます。

はじめに、8月17日から沖縄県で開催された全国中学校陸上競技大会にハイテクACアカデミー所属の恵み野中学校、恵明中学校、恵北中学校の男子により構成されたリレーチームが出場したほか、女子100メートルに同クラブ所属の恵北中学校の女子1名と男子110メートルハードルに恵明中学校の男子1名が出場しました。

次に、8月21日から福岡県で開催された全国中学校卓球大会の団体戦に恵庭中学校女子チームが、個人戦に同校の女子1名が出場しました。

次に、8月21日から大分県で開催された全国中学校バドミントン大会の個人戦に恵庭 BLITZ バドミントン少年団所属の柏陽中学校の女子1名が出場しました。

最後に、8月23日から佐賀県で開催された全国中学校新体操選手権大会の女子個人総合に恵み野中学校の女子1名が出場したところであります。

教職員サマーセミナーについて

次に、教職員サマーセミナーについて申し上げます。

教職員の資質向上を図るため、夏季休業期間中の7月30日と31日の2日間、恵庭市市民会館にて、教職員サマーセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーにつきましては、「授業づくり」「資質・能力の確実な育成に向けた単元（教材）計画」の作成、「読書のまち恵庭 学校図書館の実践について」、「子どものコミュニケーションスキルの向上」、「学校現場における法的対応」の4つの講座を開設し、市内小中学校の教職員延べ218名が参加したところであります。

いじめ防止について

次に、いじめ防止について申し上げます。

7月23日、市民会館にて、いじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を児童・生徒45名と、教職員をあわせ90名の参加のもと開催いたしました。「なぜ、いじめが起きるのだろうか」をテーマに、小・中学生が混合となり7つのグループを編成し、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。今後もいじめの根絶に向けて、学校や家庭・地域・関係機関と連携して取り組んで参ります。

通学路の安全確保について

次に、通学路の安全確保について申し上げます。

道路管理者や警察などを構成員とする恵庭市通学路安全推進会議と連携して、7月29日に通学路の合同点検を実施いたしました。今後は、点検結果を踏まえ関係機関や担当部局と対応策等について協議し、各学校へ報告・共有し、引き続き安全確保に努めて参ります。

子どもたちの体験活動について

次に、子どもたちの体験活動について申し上げます。

子どもたちが様々な体験活動を通して興味・関心を持ち、夢を育むこと

を目的とした、えにわ子ども塾事業として、6月21日に「おもしろ理科実験教室」を千歳科学技術大学理工工房のご協力のもと開催し、67名の小学生が参加し、科学実験を体験したところであります。

また、島松小学校区では7月27日にサマーキャンプが、恵庭小学校区では8月28日から31日にかけて通学合宿が、恵み野小学校区では8月30日にお仕事体験事業が開催されるなど、多くの小学生が体験活動を楽しんだところであります。

ジュニアリーダー
の養成について

次に、ジュニアリーダーの養成について申し上げます。

恵庭市子ども会育成連合会との共催により、8月9日から11日までの2泊3日で、ジュニアリーダーの養成を目的とした「前期えにわっ子ジュニアセミナー」を開催いたしました。市内の小中学生10名の参加があり、野外炊事などを通してリーダーの心構えを学ぶ機会としたところであります。

文化芸術活動の推
進について

次に、文化芸術活動の推進について申し上げます。

郷土芸能の振興保存と伝承活動を推進するため、「恵庭すずらん踊り保存会」と「恵庭岳太鼓保存会」の活動を支援しておりますが、夏祭りなどに出演し、市内各所でおおいに活躍しました。

また、バスで市内の野外彫刻をめぐる講座「恵庭を再発見、鈴木吾郎氏と市内彫刻作品を訪ねて」を8月2日に実施しました。14名の市民が参加し、恵庭大橋やユカンボシ川河畔公園彫刻広場などの彫刻作品を鑑賞し、作品の由来や作者について学習する機会としたところであります。

学校図書館活動に
ついて

次に、学校図書館活動について申し上げます。

先ほど報告しました「恵庭市教職員サマーセミナー」において、初の

試みとして学校図書館に関する講座を「司書教諭等及び学校司書合同研修会」と位置づけて実施いたしました。講座では、学校図書館が学びの中心となるための取り組みや、児童・生徒の主体的な学習を支援する工夫について、具体的な実践例を交えて紹介され、日頃の業務に活かせる多くのヒントを得る時間となったところであります。

子どもの読書活動
の推進について

次に、子どもの読書活動の推進について申し上げます。

7月31日に図書館本館において、調べる学習講習会を開催し、図書館を使って調べる学習コンクール作品作成にあたっての、調べ方やまとめ方についてのポイントを説明し、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高める機会としました。

また、夏休み期間中「調べ学習サポーター」のバッジを付けた図書館司書が夏休みの自由研究・調べ学習のサポートを実施し、展示コーナーでは、過去の入賞作品の展示を行ったところであります。

郷土資料館事業に
ついて

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

市民の皆様に文化財への理解を深めていただくため毎月1回「学芸員による展示解説」を開催していますが、6月29日に第3回、7月13日に第4回、8月23日に第5回を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

また、7月5日から8月24日には、元号が昭和になってから100年目を迎えることから企画展「恵庭～昭和のあゆみ」を、8月1日から8月28日には戦争に関する企画展として「戦争資料展」を開催し、多くの皆様に御覧いただいたところであります。

埋蔵文化財関連事
業について

次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。

子ども達を中心に、埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深めてもら

アイヌ文化関連事業について

う事業として、7月26日に「土器づくり」や「まが玉づくり」などの体験を主体とした「第12回カリンバまつり～君も縄文人になろう！」を開催し、多くの子どもたちが、様々な体験学習に参加したところであります。

最後に、アイヌ文化関連事業について申し上げます。

アイヌ文化を保存・継承・振興するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する理解を深めていただく事業として、市内の小学生5名の参加によるアイヌ文化マスター育成事業全8回のうち、6月29日に第1回を、7月27日に第2回を開催し、アイヌ文化の基礎知識などを学びました。

また8月3日には市民を対象とした「アイヌ文化学習見学会」を開催し、26名の方々にご参加いただき、白老町の「国立アイヌ民族博物館」を訪問し、アイヌ文化を学んでいただきました。

今後も講座や観察会、体験学習会など各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、令和7年第2回定例会以降における教育行政報告の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため、一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。